

報道関係者各位

2025年4月17日

株式会社スーパーホテル

### 【スーパーホテル】

## 2025年ミャンマー地震の救援金に係る募金箱の設置について

2025年3月28日にミャンマーで発生した地震におきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

株式会社スーパーホテル（所在地：大阪府大阪市、代表取締役社長：山本健策）は、被災地の早期復旧・復興を支援させていただくため、全店舗に募金箱を設置します。救援金は日本赤十字社を通じて救援・復興支援活動及び防災・減災活動等に充てられます。

### ■実施内容

- ・内容：各店舗への募金箱の設置（フロント周辺）
- ・設置期間：4月中旬より順次～2025年6月15日(日)
- ・寄付先：日本赤十字社



### ■スーパーホテルとミャンマーの繋がりについて

スーパーホテルグループの「SHHAM」では、ミャンマー現地送り出し機関会社として、宿泊業、介護業などのサービス業に特化したミャンマー人の採用・育成を推進しています。

スーパーホテル ミャンマー・ティラワでの接客接待、清掃サービス等の現場研修に加え、日本語研修や日本文化・マナーなどの研修提供を実施しています。

スーパーホテルグループ品質の研修で磨かれた人材を宿泊、介護、外食などの日本企業に紹介することや、日本のスーパーホテル店舗にて採用しています。

### ■株式会社スーパーホテル 代表取締役社長 山本健策より被災地に対する想い

この度の地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

私自身、受験生の時に阪神淡路大震災を経験しました。

当時、想像を絶する光景を目の当たりにし、被災の大変さを身をもって痛感しました。日常が一変し、多くの方が困難な状況に置かれる中で、私はただ茫然と立ち尽くすことしかできませんでした。

それから約 20 年後、スーパーホテルはミャンマーに店舗をオープンし、私もその事業に携わりました。

現在では、ミャンマーから人材を受け入れる事業も展開しており、ミャンマーはスーパーホテルにとって非常に深い縁のある国となっています。

今回の地震で甚大な被害が出ていると聞き、当時の記憶が鮮明に蘇るとともに、深い悲しみを覚えました。

あの時の無力感を思い出すからこそ、今、企業として何ができるのかを真剣に考え、行動することが私共の使命だと感じています。

一日も早い復興を心から願い、微力ながらも支援を通じて貢献できるよう、尽力してまいります。

### 【株式会社スーパーホテルについて】

「Natural, Organic, Smart」をコンセプトに、健康でサステナブルなライフスタイルを提案するホテルとして国内 173 店舗、海外 1 店舗（ミャンマー）を運営。環境大臣が先進的・独創的で、業界をリードする環境保全の取り組みを行っている環境先進企業と認定する「エコ・ファースト制度」※で、ホテル業界で唯一認定を受けています。

環境保全活動以外にも地域活性化や次世代支援などの SDGs 活動に積極的に取り組んでいます。

公式サイト：<https://www.superhotel.co.jp/>

SDGs の取り組み：<https://www.superhotel.co.jp/sdgs/>

SDGs REPORT 2024：[https://www.superhotel.co.jp/kaisya\\_r/eco\\_report/2024/report.pdf](https://www.superhotel.co.jp/kaisya_r/eco_report/2024/report.pdf)

※「エコ・ファースト制度」について：<https://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>